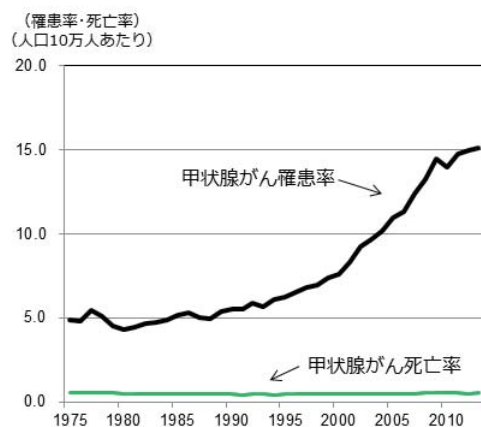
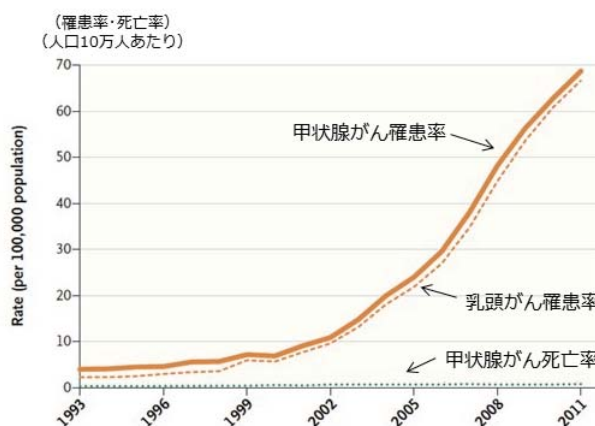


世界各国の罹患率と死亡率 (対人口10万人)



アメリカ*1



韓国*2

Copyright(c) 2014 Massachusetts Medical Society. All rights reserved.
Translated with permission.

- * 1 : NATIONAL CANCER INSTITUTE, Surveillance, Epidemiology, and End Results Program, SEER Cancer Statistics Review 1975-2013に基づき作成
* 2 : Ahn HS, N Engl J Med. 2014に基づき作成

近年、甲状腺がん罹患率の劇的な増加が報告されています。医療調査や保健医療サービスの利用増加と合わせ、新たな診断技術の導入によって、無症状で非致死性の微小な甲状腺がん(微小乳頭がん)が大量に発見されていることがその原因だといわれています。

一方、罹患率の上昇に比べ死亡率はほぼ一定であることから、このような非致死性の微小な乳頭がんを多く診断している可能性(過剰診断)が指摘されています*。

甲状腺がんの罹患率増加は、アメリカ、オーストラリア、フランス、イタリアなど世界中で見られている傾向ですが、特に韓国で顕著に見られます。韓国では1999年から甲状腺がん検査の公的援助が始まり、最先端の検査が低負担で受診出来るようになりました。そのため多くの人を受診し、甲状腺がん罹患率の大幅な上昇につながったと考えられます。

*出典:

International Agency for Research on Cancer“Overdiagnosis is a major driver of the thyroid cancer epidemic: up to 50–90% of thyroid cancers in women in high-income countries estimated to be overdiagnoses”(August 18,2016)

本資料への収録日:平成29年3月31日